



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年9月18日(火)
第2601回 例会
(本年度第10回)

例会場

東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日

毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(9/25)のメインプログラム

ゲストスピーチ
インターアクト 顧問教師

次週(10/2)のメインプログラム

ゲストスピーチ
米山奨学生 馬可氏

会長挨拶

阿部純次君

皆さんこんにちは

先週の9月11日(火)、午後6時より、第2ブロック(6クラブ)による、青少年交換・受入れ学生、「Johanna Lyon (15歳・女子生徒)」さんの滞在における説明会と意見交換会が行われました。

出席者は、2800地区青少年交換小委員会・委員長の斎藤秀紀氏(鶴岡南RC)、スポンサークラブ鶴岡西RCより、池田徳博・地区カウンセラー、青山会長、菅井幹事、吉田国際奉仕委員長の4名、当鶴岡RCは、西川幹事、菅原国際奉仕委員長、そして会長の私の3名が出席してまいりました。他4クラブは、会長・幹事及び担当理事・委員長が出席し、13名の受入会議でありました。

受入れ学生である、「Johanna」さんは、今年8月から来年6月まで約10ヶ月間の滞在予定となっています。

青少年交換の学生派遣及び受入れにおける条件は、

1. 派遣学生がいること
2. 受入れる学校があること
3. スポンサークラブがあること

この3つが前提条件となるということです。

受入れの第1ホストファミリーは、鶴岡南RC・斎藤秀紀君宅と決まっております、すでに生活が開始されています。

第2ホストファミリーは、鶴岡南RC・佐藤聡君宅より内諾を得ているとのことです。

第3・第4ホストファミリーが、まだ決まっていないので各クラブでホストファミリー引受けができる家庭があれば是非協力をお願いしたいと、斎藤小委員長よりのたつてのお願いがありました。

当クラブでも協力できる方ありましたらお申し出いただきたいと思います。

各クラブ受入れ費用については、前回の6クラブ人頭割り試算で、1人5,000円となっておりましたが、地区から300,000円の補助金が決まったので、第2ブロック会員1人当たり3,000円ということで決定いたしました。(173名×3,000円=519,000円)

来年(2013-14年)の第2ブロック派遣学生については、鶴岡東高校と羽黒高校(成田さん=女子学生)が手を挙げているとのことです。

9月に面接を行い、合格すると今年9月から来年6月まで、6回のオリエンテーションを実施した後に、派遣ということになります。

幹事報告

西川 富美子 君

鶴岡・NB友好協会

○鶴岡・NB協会 役員会開催について

日 時:9月20日(木) 午後5時

会 場:鶴岡市役所4F 401会議室

母の教え

東北電力(株)鶴岡営業所 所長 村上 真彌 君

8月より入会いたしました東北電力の村上です。

私は、入会時にお話しましたが出身が酒田市(旧八幡町升田)であり、鳥海山のふもとに山奥に生まれ育ちました。昭和31年末っ子の4番目に生まれましたが、実は姉が3人おりまして、とてもかわいがられた反面、男の子ということで姉達にいじられた少年時代であったようです。私の周りは深い山々と川が近くにあるため、勉強そっちのけで小学6年生までは川に魚とり、山に山菜・



出席報告

会員数	41名
出席	27名
出席率	69.23%
前々回確定出席率	89.74%

RI会長 田中作次

地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

栗・あけび取り、冬はスキーと遊び回っていました。お蔭様で、私は野生派で人一倍負けず嫌いです。

さて、私の父は母と祖父3人で炭焼きをして生計をとっていました。私はよく母親に連れられて小さいころから炭焼き小屋に行ったものです。それは母親がかわい子といつも一緒にいたかったからだと思います。朝早く2時間もかけて炭焼き小屋まで歩き、到着後前日夕方に火を入れた真っ赤に燃えている炭を釜から出すのが母の仕事でした。母の仕事ぶりは手馴れておりの確でしたし、上半身裸で汗だくの様相でした。父と祖父は更にその上の山へよじ登り、手のこぎりで木を切り出し、鉞(まさかり)と鉋(なた)で直径20センチ、長さ1.5メートル程度に短くし、背負って小屋にもってくるのです。木を釜に立てて火を入れ始めるのは午後3時ごろ、4時半頃には火を入れ三人でその日だした炭俵を背負って村に帰るといった毎日でしたが、村に帰ると炭俵を倉庫に入れる人達でとても活気づいていたことを記憶しております。

父は4俵、祖父と母は3俵、私は中学に入ってから2俵を背負いましたが、降りてくるのが細い山道で時には絶壁があり、一歩間違えれば谷底に落ちてしまうような場所が多く命がけだったのを覚えています。

子供ながらに、なぜこんな危険な目にあいながら炭焼きをしなければならないのか、何か別の仕事はないのかと思ったものです。

私の経験は冬ではなくほとんどが夏でありましたが、三人が休憩する時にフキの葉を袋にして沢水を飲むときの「ゴクッ!ゴクッ!」という喉音が今でも聞こえてきそうな気がします。そして、いつだったか、父母と私の3人で狭い炭小屋の一角に抱き合いながら泊まったことがありましたが、飯ごうで炊いたご飯とさば缶、なすの漬物が最高に美味しく、夜空の星は手が届く位に大きかったことを覚えています。

私の母は、米や野菜・花作り、炭焼きの仕事、食事と子供の世話と、時には踊りと何でもできる大変器用な女性でした。その母の口癖は「これからの男は、自分の仕事だけではなく、女性の仕事でも何でもできないとだめだ。出来ない時はいろいろ工夫しなさい。そして、何でも出来ることで、いろんな人に喜んでもらいなさい。」でした。

さて、私は高校時代の3年間は親元を離れて酒田のおじさんの家に下宿しましたが、初めて実家を出て生活し始めると母のやさしさと存在の大きさを感じました。私は母の励ましのおかげで高校3年間はレスリングと勉強の両立に励み有意義に過ごしたのです。

そして私は昭和50年に東北電力に入社し、現在に至っております。結婚してから平成6年から9年まで鶴岡営業所に勤務しましたが、その後転勤してから15年間

単身赴任をしました。上の長女が6年生で長男が3年生でしたが、私が下宿で泣いたように2人の子供もいじめとかもあり淋しくて泣いたんだと思います。

私は、単身赴任中に同居していた父と母を亡くし、死に目に会えなかったのが心残りですが、私は更に精神的にも逞しくなっていました。

そんなことで小さい頃から自然と向き合い、両親や家族の深い愛情につつまれて育った私は、とても幸せだったんだなあと思います。

そして、私は、「何でも出来る男になれ。」と教えてくれた偉大な母親に「日々感謝」しながら、私が出来る社会・地域への「奉仕活動」に参画していきたいと思っています。

どうぞ、鶴岡ロータリークラブの皆さまのご指導をよろしくお願いいたします。

Annotation



アーサー・フレデリック・シェルドン(1868～1935)

ロータリーの第二標語「最もよく奉仕をする者、最も多く報いられる(One Profits Most Who Serves Best)」を提案した、初期の指導的人物です。なお、英文の主語は当時、He でしたが、2010年規定審議会で、One に変更する決議案が採択され、国際ロータリー理事会で決定されました。

決議23 - 34

「社会奉仕に関する1923年の声明(1923 Statement on Community Service)」のことです。1923年のアメリカ・セントルイス国際大会で採択され、以後の国際大会で改正されています。当決議の全文については、『2010年手続要覧』の114～116ページをご覧ください。

四つのテスト(The Four-Way Test)

四つの問いを中心に、事業と専門職における論理について述べた声明。「真実かどうか、皆に公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」1932年にハーバード・テイラーより創作され、43年に国際ロータリーに採用されました。

委員会報告

◆出席委員会

◎ビジター

後藤正君(鶴岡南RC)

◎メイクされた方

嶺岸禮三・伊藤 博・佐藤詩郎・西川富美子
塚原初男

スマイル ☺

阿部純次君 村上さん、新入会員スピーチありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。
富樫松夫君 初孫が生まれました。母子ともに健康です。